



ゆうすけ、ハルクベーで初優勝!

雨で流れた9月のNIB王戦、10月9日(日)も朝から雨で開催が危ぶまれたが、何とか午後開催にこぎつけた。雨上がりの角六戦だ。こんな日に集まる集まる。久しぶりの顔がいる。新顔もにこやかだ。3連休だというのに、ほかに行くところがないのだろうか。おかげ様でベテランが予選落ちの憂き目にあう。そんな中、決勝3番勝負は、久々登場のマッチと、これまた久々登場のゆうすけの戦いとなり、3対1でゆうすけに軍配が上がった。

弱が強に勝る、だからベーゴマはたまらない

相性というものがあるのだろう。この日のゆうすけとハルクベーのことだ。聞けばゆうすけはたても園でベーゴマをやっていたが、それほど一所懸命でもなかったらしい。それがどうだ、予選を通過すると勝つは勝つは、居並ぶ大人をバツバツとなぎ倒す。周りの声援もゆうすけを後押し、怖いもの知らずのゆうすけは、ちち平井、イッサ望月、ジョージを血祭りに上げると、決勝ではマッチを粉砕だ。いやー、楽しい。

よく、ベーゴマは運だという。運とは何ぞや。よく分からないことを結論付けるときに使う便利な言葉だ。超ベテランでさえそう言うのだから、要するにベーゴマの必勝法なんて分からないのだ。あるのは、個々人の流儀だけ。だからベーゴマは面白い。まあ、今日はベーゴマの神様が、ゆうすけの上に舞い降りて来たとも思おう。ベーゴマの神様はイタズラだから、時々そういうことをする。そして、どこかで笑っているのだろう。でも意外と平等じゃないんだよ。それはそうと、ゆうすけ、どんな理由があろうと初優勝は立派だ。強かったね。おめでとう!

名人戦最終場所で抜け出したのはマックス!

ここぞいうときに実力の差が出る。マックス吉岡が前回の6位から一気にトップで予選を通過だ。やっぱりか〜と、嘆きの声が聞こえそうだ。これまで1位を走り続けてきた鉄人後藤が3位に後退、2位には依然ハルクが君臨している。現名人平井おやぢがファイナルに参加できないので、自動的にタイトルを返上、第十六期名人戦は、予選トップ9人による争いとなったが、まずはマックスが巴戦にシードされた。その巴戦の行方は、果たして優勝は誰か。次回、名人戦ファイナルにご注目ください。



ゆうすけ おめでとう!



苦節9年、奥田パパが優勝の二文字に酔う

奥田パパのペーに珍しく色がついている。「あっ、これホンコで取ったペーだよ」誰のペーだろうとこだわらない。それが奥田流だ。いいじゃないの、ひとのペーだって。自分に合えばそれでいい。苦節9年、奥田パパがガチホンコで初優勝だ。9年といえば、100回以上のタイトル戦、ガチなども含めればそれ以上の数争ってきたわけだ。そしてようやくたどり着いた初優勝。初がつくと何でも格別だ。奥田さん、この勢いで名人戦も取っちゃえば。

2016 バロンドールは大詰めに近づいてきた

バロンドールのポイント差が縮まった。トップマックスと2位ハルクの差が2ポイント縮まり、さらに3位の岩坊も1ポイント近づけた。いよいよこの3人の争いの絞られてきたぞ。残るタイトル戦は3つ。名人戦、ペア・マッチ、チーム戦だ。ペアとチーム戦は相棒により勝敗が分かれるので、それこそ運がよくなければつかめない。自分の力でもぎ取れるのは名人戦だけだ。ここがまさに天王山。ほかの人たちは邪魔しろよ～。



① 若節九年の公務員
夕陽のヤスジ

② お親が子の
コマ弾きの
声をこぼして
ガッツポーズ
鉄人後藤

③ よ予選落ち
悔し涙が
陽に光る
鉄人後藤

④ 後半一気は
マックスだ！
夕陽のヤスジ

